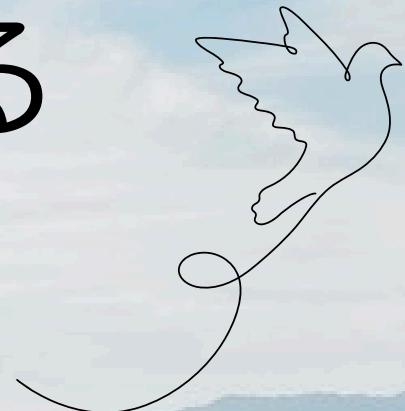


障害児者や要配慮者が 災害時に命を守るために情報を 贈る・受け取る プロジェクト

いま、この瞬間から
あなたも参加できる！



NPO法人
輪母ネットワーク



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



10 人々の不平等
をなくそう



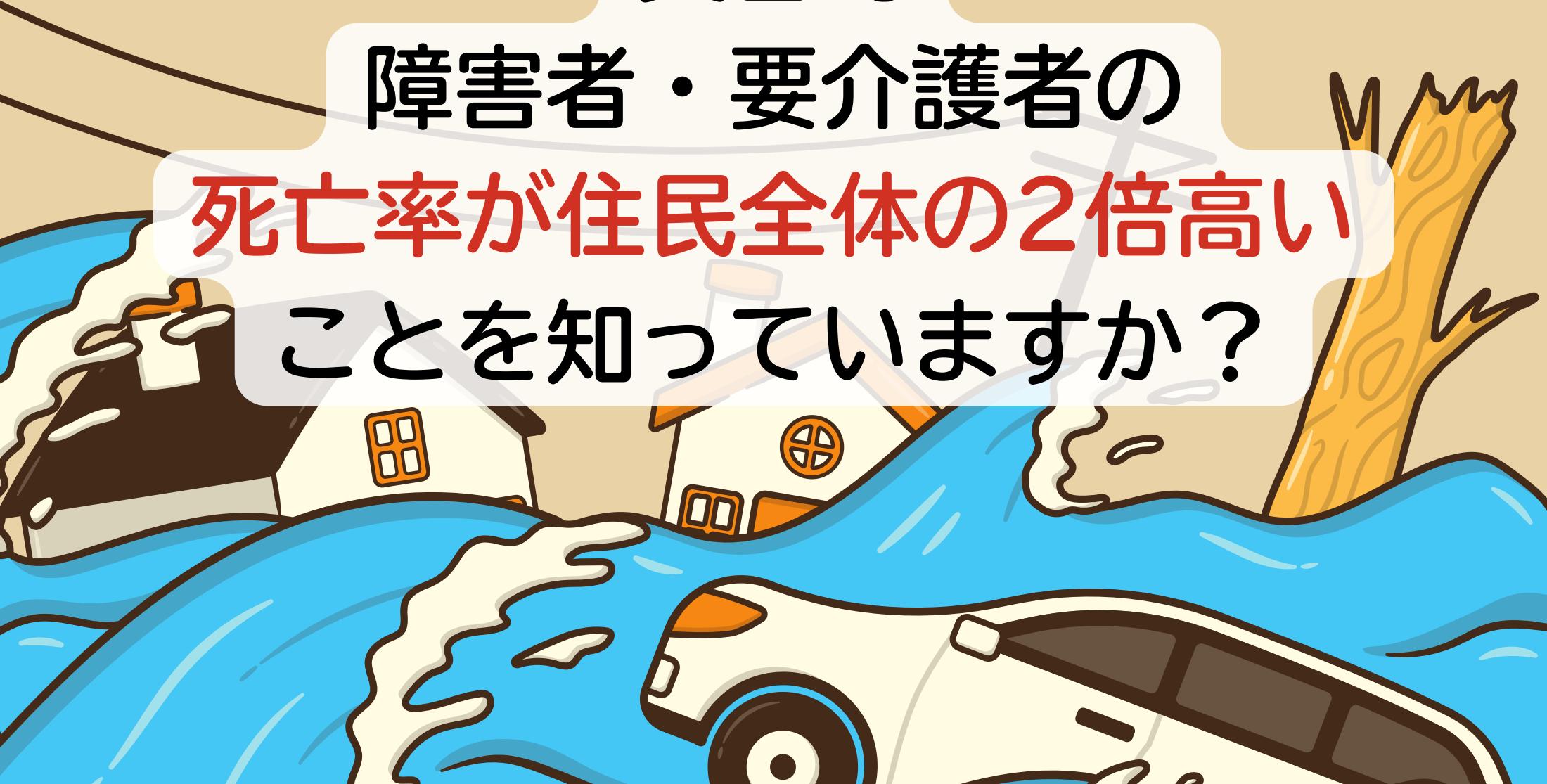
11 住み続けられる
まちづくりを

災害時

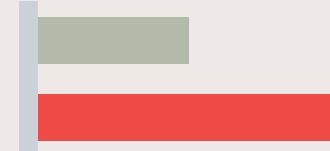
障害者・要介護者の

死亡率が住民全体の2倍高い

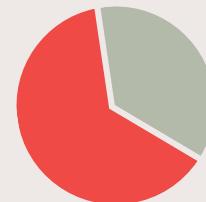
ことを知っていますか？



- 障害者の死亡率は住民全体の**死亡率の2倍** (東日本大震災)^{※1}



- 地域の避難訓練で障害者への配慮がなかったと答えた率 62.3%^{※2}



- 要支援者の災害時個別計画未作成は 72.4%^{※3}



参考：※1 2019年 ※2※3 2021年 それぞれNHK調査アンケート



障害のある人・配慮が必要な人と家族のための 防災ワークブック



2017年
作成

2024年
リニューアル

フルカラー 全28P

支援が必要な人の災害時に備える

被災時の環境

こんな困りごと
避難されない道など
などになります。
また、荷物の重
くなることがあります。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
店舗、体調調整
体調、匂い
パン・大根
便器、ほか

飲み物と食べ物

支援が必要な人の災害時に備える

こんな困りごと
避難する人が多い
など避難の時
なることがあります。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
店舗、体調調整
体調、匂い
パン・大根
便器、ほか

医療と薬

支援が必要な人の災害時に備える

こんな困りごと
病院などが日曜日から
あります。また、薬局や駅前など
が混じる場所での聞き
取りが難しいことがあります。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
病院、こだわり
持病を把握

衛生・トイレ

支援が必要な人の災害時に備える

こんな困りごとがあるかもしません
トイレに行く必要があるなど、年齢や外見だけではわから
ない状況を生き残るために必要な人もあります。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
トイレ介助
定期的な検査
定期的
トイレのアフターケア
クレア、虫歯
歯科治療
手洗い
手洗い
手洗い
手洗い

当事者と家族

支援が必要な人の災害時に備える

こんな困りごと
お風呂に電気が使えない
毎日、寝具の洗濯の業務を
行っていません。
自殺、クラクションしている
体調の不安定で、自分
いざなうとき、健闘の
かへ。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
お風呂に電気が使えない
毎日、寝具の洗濯の業務を
行っていません。
自殺、クラクションしている
体調の不安定で、自分
いざなうとき、健闘の
かへ。

当事者と家族の不安

支援が必要な人の災害時に備える

こんな困りごと
お風呂のスパーカーがあるのが不思議です。お風呂には大人用
のつまみ栓が付いています。
体力が弱く、体力が弱いのでお風呂が苦しいです。
小学生の子どもがタオルを使っています。ジュニアサイズの
タオルはお風呂では扱いづらいです。
お風呂のストレスから不安になります。後回しのままです。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
お風呂のスパーカーがあるのが不思議です。お風呂には大人用
のつまみ栓が付いています。
体力が弱く、体力が弱いのでお風呂が苦しいです。
小学生の子どもがタオルを使っています。ジュニアサイズの
タオルはお風呂では扱いづらいです。
お風呂のストレスから不安になります。後回しのままです。

こんな対策をしています

支援が必要な人の災害時に備える

こんな対策をしています
隠れられないトイレの生活の整理グームーズを行なうように、手帳の組カードを利用しています。
隠れられないトイレの生活の整理グームーズを行なうように、手帳の組カードを利用しています。
隠れられないトイレの生活の整理グームーズを行なうように、手帳の組カードを利用しています。
隠れられないトイレの生活の整理グームーズを行なうように、手帳の組カードを利用しています。
隠れられないトイレの生活の整理グームーズを行なうように、手帳の組カードを利用しています。
隠れられないトイレの生活の整理グームーズを行なうように、手帳の組カードを利用しています。

いざな
避難

視覚情報
音、匂い
感覚情報
お風呂のスパーカーがあるのが不思議です。お風呂には大人用
のつまみ栓が付いています。
体力が弱く、体力が弱いのでお風呂が苦しいです。
小学生の子どもがタオルを使っています。ジュニアサイズの
タオルはお風呂では扱いづらいです。
お風呂のストレスから不安になります。後回しのままです。

障害当事者と家族の声を反映

支援が必要な人の災害時に備える

連絡・コミュニケーション

こんな困りごとがあるかもしれません

様々な事情で、コミュニケーションにもサポートを必要とする人がいます。誰もが同じ言葉を理解し、文字が読めるとは限りません。

視覚情報
目からの情報が伝わりにくいです。普段はコンタクトレンズやめがねを利用している人も、災害時にめがねを失くし、生活が困難になることもあります。

聴覚情報
耳からの情報が伝わりにくいです。音の聞き取りに困難のある聴覚障害者や、複数の言語が混じる場所での聞き取りが難しい聴覚処理障害の人もあります。

言葉の理解
一般的な言葉での説明では理解が難しい人がいます。知的障害の方や、外国語での説明が必要な人に配慮が必要です。

誠意
言葉の聞き取りはできますが、話すことができません。無理に話させようとせず、本人に負担の少ないコミュニケーション手段が必要です。

知っておきたい

防災知識

- 災害時や避難が必要な時に、各個人に合わせて支援に必要な内容を事前に市町村や支援関係者間で共有する「個別避難計画」の作成が各自治体で進んでいます。

調べてみよう

自分のまち

- 行政や自治体では、「やさしい日本語」による情報発信や、活用できるイラスト素材の配布が進んでいます。探しにましょう。
- 自治体によっては、アプリやSNSで防災無線の内容を配信しているところがあります。事前に確認しておきましょう。

こんな対策をしています

・暗い場所で手話や文字が見られるように筆談の道具と合わせて懐中電灯も用意しました。
 ・本人が説明することができないので、持ち出し袋に障害状態と必要な支援の説明を書いた緊急時SOSカード（巻末付録）と、家族の写真をいれました。
 ・通学・通所中に災害が起った時のために、自分の居場所を知らせる方法を練習しています。
 ・家庭だけでなく、学校や通所施設に障害と支援に関する情報の保管と共有をお願いしました。
 ・言葉での理解が難しいので、絵カードや指差しボードを持ち出し袋に入っています。

NPO法人輪母ネットワーク
障害のある人・配慮が必要な人と家族のための防災ワークブック

8

繰り返しSTEPで進める

我が家家の防災計画の作り方

ここからは、ステップごとに情報を集めていくことで、
我が家家の防災計画が作れるようになっています。



DIGIにチャレンジしてみよう

大きな地図を使って、楽しく色を塗ったり書き込みをしながら、自分のまちを知り、必要な情報を簡単に整理できる「団上訓練」です。

DISASTER: 災害 IMAGINATION: 想像力 GAME: ゲームの頭文字をとって名付けられました。

用意するもの

- ・住宅地図、カラーペン4色、シール、ふせん、資料（ハザードマップなど）

やりかた

- ①自宅に目印をつけます。②色塗りをします。③ハザードマップの情報や、気になることを付箋を利用して書き込みます。

Check!

- ・自宅から避難所までのルートを見てみます。
- ・ハザードマップと重ねて、浸水予測地帯や、避難所に対して、対象になつてない場合は、ハザードマップの情報を見直します。
- ・自治会長や民選委員、防災りんご

電気の備蓄をしておこう

近辺では、災害時にもスマートフォンの利用は必須になってきています。でも使うように、電気の備蓄もしておく必要があります。

Check!

- ・モバイルバッテリー
- ・スマホについで、充電ができる充電バッテリー
- ・ハザードマップと重ねて、浸水予測地帯や、避難所に対して、対象になつてない場合は、ハザードマップの情報を見直します。
- ・外出時には、必ず持ち歩く荷物をつめましょう。
- ・電池が不安定な時は、バッテリーの減速度も遅くなります。そのため2回フル充電できるものが安心ですが、容量が大きくなるほど重量も重くなります。

災害時の通信を知る

- 00000JAPAN（ファイブゼロジャパン）
- 災害発生時や大規模通信障害発生時に無料開放されるフリーアクセスポイントです。キャリアの制限がなく利用できます。
- お隣から、近所のフリーWi-Fiスポットをチェックしておきましょう。

備蓄についての考え方

備蓄の目安は7日分

すべてを運ぶのは難しいので、持ち出し袋に3日分、家庭内の備蓄として7日分を用意します。また、立退いや買い物移動が困難な場合は、さらに多めに備蓄しましょう。

電気の備蓄

の備蓄や配慮に必要な備蓄の例です。プラスの備蓄もしておきましょう。

自分の情報を伝えるために

- ・避難手帳のコピー
- ・お薬手帳
- ・家族写真
- ・緊急時SOSカード
- ・携帯登録

衛生用品

- ・オムツ
- ・湿巾
- ・おしみとき
- ・エリートティッシュ
- ・毎日替えるゴミ袋
- ・使い捨て手袋
- ・消毒グッズ
- ・消耗品
- ・身に付けるもの
- ・ストラップ

見直す・パワーアップする

見直しを繰り返することで、日々の備えもパワーアップしていきます。

一般的な防災知識も盛りだくさん

受け取りました
あいがとうの声



発行部数 **8800部以上**

配布先

障害当事者と家族・自治体・児童発達支援
放課後等デイサービス・就労支援施設
地域活動協議会・連合町会・大阪府老人クラブ連合会・
学校園・NPO団体・子育て支援団体
防災リーダー・地域女性防災リーダー

防災研修・講座の提供もしています

500円



従来型の課題

費用負担で
踏みとどまる例が多数発生

命を守る情報に“経済格差”があつてはいけない

いま、この瞬間から あなたも参加できる 無償配布プロジェクトを 大規模展開



障害児者や要配慮者が 災害時に命を守るために情報を 贈る・受け取る プロジェクト



NPO法人
輪母ネットワーク



3
すべての人に
健康と福祉を



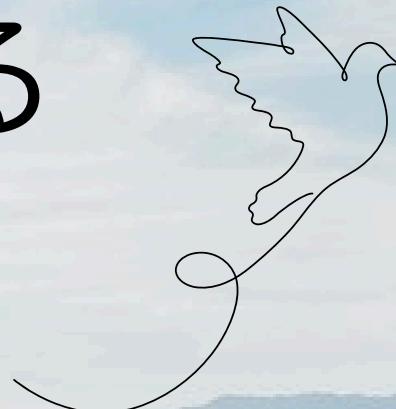
4
質の高い教育を
みんなに



10
人や国の不平等
をなくそう



11
住み続けられる
まちづくりを



あなたにできること ①

この冊子を誰かに「手渡す」

10冊以上からの無償送付

受け取った人がさらに手渡す

- ・情報の拡散
- ・コミュニケーションの促進

印刷・発送



輪 母 ネットワーク



共助の
後押し

無償配布受け取り申し込みは
こちらから



100冊以上も
対応しています

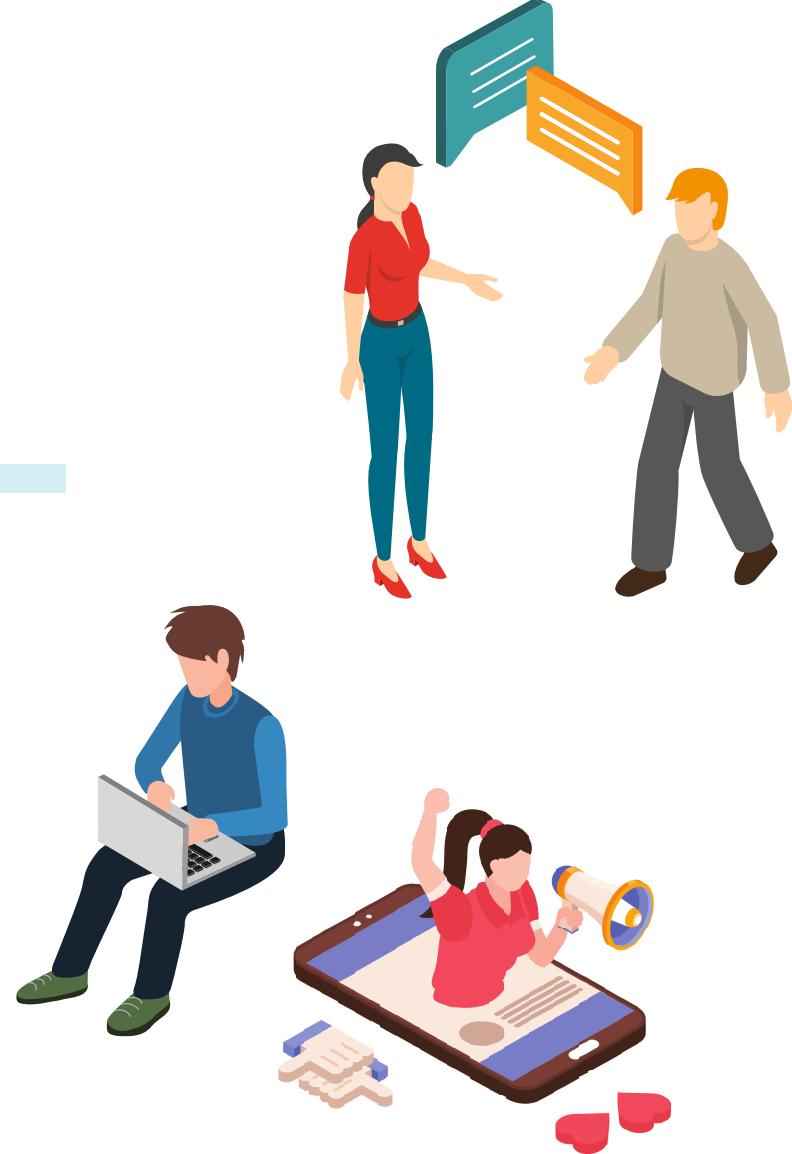


あなたにできること ②

この冊子を誰かに「教える」

- ・SNSでの呼びかけ
- ・口コミ共有

情報の
提供



あなたにできること ③

コーヒー 1杯分の寄付をする

印刷費・配布費とともに、
すべて寄付でまかなわれています。

資金
サポート

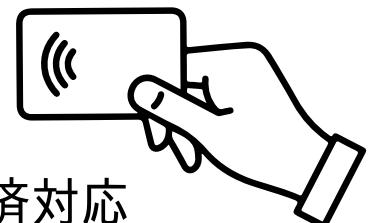


サクッと簡単！オンライン寄付は こちらから



防災ワークブック専用
寄付窓口

- カード決済
- オンライン決済対応
- ワンコインからOK



③ 企業・団体向け大口寄付プラン

障害のある人・配慮が必要な人と家族のための 防災ワークブック

障害や必要な配慮に合わせた防災計画を作るための情報ブック。
いざという時のために持ち歩ける『緊急時SOSカード』付き
フルカラー 全28P



Thanks Supporter枠 横17cm×縦8cm

プロジェクトに参加してくださった感謝を込めて
サポートーのお名前・ロゴ等を掲載します。

＼企業・団体向け／

まとめてサポートプラン

まとめてのサポートによってすぐに100部以上の印刷と配布が可能になるプランです。印刷した冊子は自社・自団体の配布や研修での利用も可能です。

背表紙に
お名前・ロゴを
単独掲載

社会貢献事業
としてPR可能

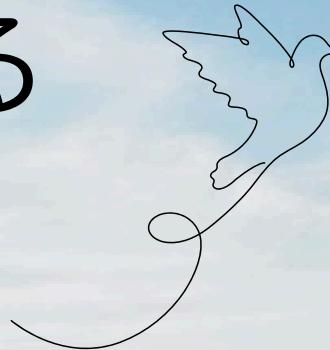
Webサイトに
支援者として
お名前を掲載

配布方法も選択できます

自社・自団体で配りたい
指定した場所・施設に届けてほしい



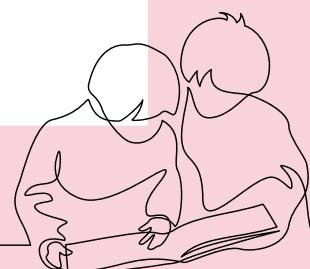
障害児者や要配慮者が 災害時に命を守るために情報を 贈る・受け取る プロジェクト



輪母ネットワークは、収益事業や受託事業を持たない 完全非営利・寄付型のNPO法人です。

制度の隙間に手を伸ばし、既存の社会課題に新しい解決を提案するため、
私たちは、あえて寄付だけで活動するチャレンジを続けています。

Thanks
Supporter!



NPO法人
輪母ネットワーク



3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



10 人や国の不平等
をなくそう



11 住み続けられる
まちづくりを

サクッと簡単！オンライン寄付は
こちらから



NPO法人 輪母ネットワーク
応援窓口

- カード決済
- オンライン決済対応
- ワンコインからOK

